

令和2年度 観光入込み数 増減要因

1 令和2年度の観光入込み数について

令和2年度の観光入込み数は 1,773,948 人で、177,077 人の増（前年比 111.1%）となった。

【内訳】〔宿泊者数〕	57,980 人	44,046 人の減	（前年比 56.8%）
〔日帰り客数〕	1,715,968 人	221,123 人の増	（前年比 114.8%）

2 増減要因の総括について

7月12日にウポポイ（民族共生象徴空間）が開業し、ウポポイのPRを国・道・胆振管内市町・民間事業者等から行われていることから、アイヌ文化とともに「白老」の名称もPRされている。これらのことから白老町への関心が高まり、ウポポイを中心とした「飲食店・みやげ」、「体験・ツーリズム」などの様々な業態において波及的に入込客数が増加した。

一方、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年2月から落ち込んだ宿泊客数は、国のGoToトラベルや道のどうみん割などの観光需要喚起策の影響により、第2四半期の入込客数は、回復の傾向であったが、再度感染拡大した第3、4四半期にかけては、東京都等への緊急事態宣言発出や札幌市が道の警戒ステージ4相当になったことに伴い、GoToトラベル及びどうみん割の利用の一時停止や札幌市との不要不急の往来は、控えるよう呼び掛けたところ、再度宿泊客が減少し、感染状況により3月末まで観光需要を喚起できる状況でなかったことから、前年比56.8%に減少した。

また、密にならずに屋外で自然に触れるエコツーリズムやアウトドアの需要が全国的に高まっていることから、白老町においてもクッタラ湖及びインクラの滝などの「自然景観」への来訪者が前年比154.3%に増加し、キャンプ場も新たに2カ所開業したため、キャンプ場の入込も増加した。

全体としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、「宿泊（ホテル・旅館）」が減少したものの、ウポポイが開業したことに伴い、7月以降の入込客数が増加し、前年比111.1%の入込客数を記録した。

3 地区別の主な増減要因

虎杖浜温泉地区（竹浦・虎杖浜地区）

虎杖浜温泉地区の全体の観光入込み数は 684,943 人で、249,227 人の減（前年比 73.3%）となった。

【虎杖浜温泉地区の増加要因】

「自然景観」169,107 人 61,849 人の増（前年比 157.7%）

- ウポポイが7月に開業した波及効果及び、密にならずに自然に触れ合えるエコツーリズムの需要が全国的に高まっている流れで増加した。

【虎杖浜温泉地区の減少要因】

「宿泊客（ホテル・旅館）」51,453 人 42,835 人の減（前年比 54.6%）

- 一部の事業者では、GoToトラベルやどうみん割の影響で利用客が増加

したが、年間を通じて新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、利用客数が減少した。

「日帰り(ホテル・旅館)」 135,986人 26,295人の減 (前年比 86.8%)

■ 年間を通じて新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、利用客数が減少した。

「飲食店・みやげ」 291,900人 217,671人の減 (前年比 57.3%)

■ 宿泊客数の減少に伴い相乗的に来店者数が減少したものと考えられる。

「まつり・イベント」 0人 13,550人の減 (前年比 0%)

■ 新型コロナウイルス感染症の影響により、まつり・イベント等の催事が見送られた。

「スポーツ・レクリエーション」 36,477人 10,685人の減 (前年比 77.3%)

■ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりパークゴルフ場等利用者が減少したため。

白老地区 (社台～北吉原地区)

白老地区の全体の観光入込み数は 1,089,005人で、426,304人の増 (前年比 164.3%) となった。

【白老地区の増加要因】

「飲食店・みやげ」 773,873人 322,431人の増 (前年比 171.4%)

■ ウポポイが7月に開業したことに伴い、ウポポイへの入込が白老地区の飲食店及び土産物店に波及的に広がり、増加に繋がった。

「自然景観」 15,458人 3,066人の増 (前年比 124.7%)

■ ウポポイが7月に開業した波及効果及び、密にならずに自然に触れ合えるエコツーリズムのブームが全国的に高まっている流れで増加した。

「文化・歴史」 228,819人 221,217人の増 (前年比 3010.0%)

■ ウポポイが7月に開業したことに伴い、各種 PR やプロモーションを行った結果、コロナ禍ではあるが、多くの方々が来場し、ウポポイ開業前と比較して大幅に増加した。

「体験・ツーリズム」 7,750人 1,171人の増 (前年比 117.8%)

■ ウポポイに関連したアイヌ文化のPRにより、アイヌ文化体験の参加者数が増加した。

「スポーツ・レクリエーション」 54,238人 980人の増 (前年比 101.8%)

■ 新たにキャンプ場が開業し、新型コロナウイルス感染症の影響によりアウトドアの需要が高まっていることから、増加した。

【白老地区の減少要因】

「宿泊(ホテル・旅館)」 6,527人 1,211人の減 (前年比 84.4%)

■ 年間を通じて新型コロナウイルス感染症の影響により、利用客数が減少した。

「まつり・イベント」 1,870人 121,230人の減 (前年比 1.5%)

■ 新型コロナウイルス感染症の影響により、多くのまつり・イベント等の催事が見送られ、大幅に減少した。

4 訪日外国人観光客の増減要因

「宿泊客数」 52人 9,152人の減 (前年比 0%)

「日帰り客数」 255人 今回から調査

新型コロナウイルス感染症の影響により、国際的な人の往来が制限されているため、今年度の訪日外国人の入込については、在留外国人となっており、成田空港、羽田空港においても多くの国際定期便の運行が運休になり、新千歳空港においては、国際定期便の運行が全てなくなったことが起因し、宿泊客数は、前年比1%未満となっている。

5 過去5年間の入込客数の推移

平成28年度	1,766,682人	(47,829人	”	97.4%)
平成29年度	1,735,570人	(▲31,112人	”	98.2%)
平成30年度	1,505,404人	(▲230,166人	”	86.7%)
令和元年度	1,596,871人	(91,467人	”	106.1%)
令和2年度	1,773,948人	(177,077人	”	111.1%)